

北の中世を今に伝える町

旧笠浪家住宅及び付属土蔵〈国重要文化財〉

Former Sasanami Family Residence and Storehouse - Important Japanese Cultural Asset

舊笠浪家住宅及附屬土藏<國家重要文化財>

旧笠浪家住宅及付属土蔵<土庫、国家级文化産>

구사사나미가 주택 및 부속 허브 광<국가 중요 문화재>

旧笠浪家は18世紀初めから続いたニシン場の網元。安政4年(1857年)に家の土台替え、翌5年に屋根の葺き替えを行つたことを記した「家督普請控」があり、19世紀前半の建築であることが認められています。北海道に現存している民家では最も古に属し、置き石屋根が往時のたたずまいを偲ばせています。



夷王山墳墓群

Iozan Burial Grounds

夷王山墳墓群

夷王山坟墓群

이오우산 분묘군

標高159mの夷王山の麓には勝山館跡を取り囲むように、室町時代の墳墓600余基が分布、白い標柱が海風の中に立っています。



勝山館跡ガイダンス施設

Katsuyama Castle Ruins Guidance Facility

勝山館遺跡導覽設施

勝山館遺跡導航設施

가즈야마다테 유적 가이던스 시설

発掘された墳墓と勝山館のあゆみと館のつくりや蝦夷地の中世の歴史がわかる資料を展示。

開館 4月第4(土)~11月第2(日) 10:00~16:00

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

※ゴールデンウィーク期間中は開館(詳しくはお問い合わせ下さい)

大人 200円 小・中・高生 100円

旧笠浪家との共通券 大人 400円 他に団体割引もあります

電話 0139-55-2400



勝山館跡〈国指定史跡〉

Katsuyama Castle Ruins

<Officially-Designated Historical Site>

勝山館遺跡<國指定史跡>

勝山館遺跡<国家级指定遺跡>

가즈야마다테 유적 <국가 지정 사적>

北海道南部から東北北部に存在する多くの館の中でも代表的な館。松前氏の祖である武田信広が1470年頃築いた山城で、16世紀末頃まで、蠣崎氏の日本海側における政治・軍事・北方交易の拠点でした。

近年、中国製青磁や瀬戸・美濃焼など5万点余りの国内外産陶磁器の他、金属製品、木製品など合計7万点余りの出土品や、住居・井戸・空塹・橋などの跡が多数発掘され、百数十年にわたり繁栄を極めた「北の中世都市」の様子が見えてきました。また当時のアイヌの人々が使っていた骨角器も出土し、館の中にはアイヌも混住していたようです。

このように、勝山館跡は日本海北方交易の様子や中世の生活様式を今に伝え、「北の中世」を語る重要な、興味尽きない史跡です。



A town that gives a flavor of medieval times in the North

將北之中世傳遞給現在之町

至今北方中世纪遗风盎然依旧城镇

북쪽의 중세를 현재로 전하는 마을

豊かな森と天然の良港に恵まれ、日本海北方交易の拠点として栄え、長い歴史を重ねて来た上ノ国町。町のそこそこに多くの歴史遺産がちりばめられている、中世をリアルに体感できる北海道の故郷です。

Welcome to Kaminokuni Town, a town with a very long history, blessed with abundant forests and nature all around. Its position on the Sea of Japan makes it a great seaport and a hub for commerce in the North. Historical sites are scattered all around this old Hokkaido town where medieval times come to life.

夜明けの塔

Yoake Tōrō (Dawn Tower)

黎明之塔

启明塔

새벽의 탑



ふるさとのシンボルとして昭和63年に八幡牧野内に完成した夜明けの塔。夜になると塔がロマンチックなライトアップされ、上ノ国のランドマークタワーとして機能しています。この塔は中世の山城を現代風にアレンジした二重の八角錐で構成され、造形化したものです。

土壘に開かれた三方の道は冬至・春・秋分・夏至の日の日の出の方角を示しています。ここからは紺碧の日本海に浮かぶ大島や奥尻島やせたな町から松前町までの道筋や桧山道立自然公園などが一望することができます。

天の川かささぎロード

Ama-no-kawa Kasasagi Road

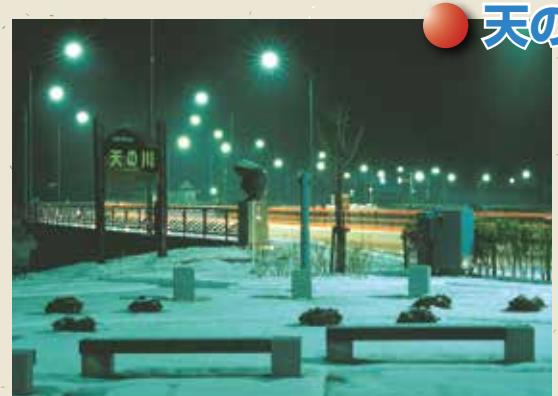
天河鶴橋之路

天之川鶴橋之路

은하수 오작교

天の川橋を挟んで国道228号線沿い約1.8kmに、天の川伝説に登場する織姫と彦星を仲立ちする「かささぎ」にならんで命名された「かささぎロード」がある。

2つの小公園と天井に星座が煌めく3つのミニギャラリー。また新設された天の川橋には、黄道12星座がかたどられ、夜には光ファイバーで七色に光るロマンチックな出会いと夢を生き交流が深まるエリアです。



上ノ國八幡宮（本殿）〈道指定文化財〉

Kaminokuni Hachimangu Shrine (Main Hall) - Kaminokuni Town
Designated Cultural Property

上之國八幡宮（本殿）<町指定文化財>

上之國八幡宮（正殿）<上之國町指定文化遺産>

가미노쿠니 하치만구 (본전) <정지정 문화재>



※写真は拝殿。本殿は拝殿奥の覆屋に安置され拝観はできません。

文明5年(1473年)武田信広が勝山館内に館神として創建した社。

本殿は元禄12年(1699年)の建立で北海道内に現存する神社建築では最古のものに属しています。明治9年現在地に本殿を遷し、伝説大藏鯨の若宮社が合祀されています。

松前家13代道広、14代章広の書が社宝として伝えられているほか、福井特産笏谷石製の狛犬が社殿奥深く祭神を守っています。

円空仏

Enku Buddha Statue

圓空佛

圓空佛

엔쿠우 불

寛文6年(1666年)頃に北海道に渡った遊行僧円空は、松前・蝦夷地を巡錫し、布教を行いました。

円空の刻んだ仏像は慈悲に満ちた微笑みをたたえ、人々の心を和ませ信仰に導いたと言われています。

後年鉈一挺で仏像を刻む事に妙を得た木端仏と呼ばれる仏像をたくさん残しました。上ノ国町では、現在六体の仏像が観音堂など町内各所に大切に祀られています。



上國寺本堂〈国重要文化財〉

Jokokuji Temple Main Building
- Important Japanese Cultural Asset

上國寺本堂<國家重要文化財>

上國寺正殿<国家级文化遺產>

조코쿠지 본당 <국가 중요 문화재>

開基を嘉吉3年(1443年)と伝えられる北海道有数の古刹。

本堂の建立は、天井裏の板に「宝曆7年」に本堂庫裏一度に建立」とあること、さらに虹梁(こうりょう)の彫刻模様が18世紀に一般的に用いられているものであることなどから、宝曆7年(1757年)か宝曆8年であると考えられています。北海道に現存する仏堂建築では最古のものです。

